学校通信

中　神

令和５年９月１日
昭島市立中神小学校
校長　松井　茂

充実の2学期へ

長く、充実した夏休みが終わりました。今年の夏は、気象庁が異常な暑さと表現していたように、東京で35℃以上の猛暑日の記録を更新する暑い日が続きました。そんな中でも子どもたちは、元気に夏休みを過ごせたことと思います。大きな事故やケガもなく、子どもたちが元気な顔を見せてくれたことを嬉しく思います。

さて、今日から２学期のスタートです。２学期は、運動会、展覧会と大きな行事や様々な取組が続きます。じっくりと一つ一つのことに取り組んでほしいと思います。それぞれの行事や取組には「目的・ねらい」があります。「何のために今このことをがんばるのか、どのようになりたいのか・したいのか」という思いを意識して取り組むことが大切です。そして、低学年は低学年なりに、中学年・高学年もそれぞれに「中小の一員だ」という自覚と責任を高めて行動していってほしいと思います。子どもたちの成長に向けて教職員一同尽力していきます。

目に見えない力を

（校庭でのラジオ体操）

この長い夏休み、子どもたちは様々な体験をしたことと思います。また、夏休みは心身ともに大きく成長する時期でもあります。それだけに普段の生活ではできない体験をすることは、大変重要なことだと思います。

その中で、夏休み中に子どもたちの「力」になったものが､たくさんあったことと思います｡「読書に頑張った」「ラジオ体操に休まず出かけた」｢夏休みの課題に取り組み、やりとげた」などは「目に見える力」です。この「力」は子ども自身にも分かりますから、これからの生活に大きな自信となります。

また、子どもの内面で成長した「目に見えない力」も様々あったことと思います。これらを見付けて子どもにしっかり自覚させてやるのは大人の役目です。

「田舎のおばあちゃんのお手伝いやいたわりの言葉をかけていた｣｢公園で近所の小さい子が泣いているのを助けてあげた」など、その行動は、心の成長の証（あかし）であり、素晴らしいことです。子どもの何気ない行動の裏にある「価値」を言葉にして子どもに返してあげることが大切です。数字には置き換えられず、学校の成績には直接は関係ありませんが、優しさ、思いやり、根気強さ、正義感等が統合された「人間性」の目を見付けて子どもに返してあげたいものです。これは、人が人として生きていく上での礎となっていくことと思います。

２学期も子どもたちは、精一杯がんばってくれることと思います。今学期も保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

スクールゾーン車両通行自粛呼びかけ重点運動ご協力のお願い

今回は、秋の交通安全運動期間に合わせて９月２５日（月）～９月２９日（金）に設定させていただきたいと思います。ご協力の程、よろしくお願いいたします。